

富士山基金の概要

1 基金創設の目的、経緯

富士山の雄大な自然を守り、より豊かで、より美しい富士山を後世に伝えていくため、平成8年度に、「富士山基金」を創設し、市民をはじめとする、富士山に思いを寄せる多くの皆様から浄財を募っています。基金の適切な活用を図るため、基金の使用に当たっては、「御殿場市富士山基金委員会」への諮問、答申を経て、富士山の自然環境の維持保全、富士山の学術文化の振興等の資金として有効に活用しています。平成25年6月26日には富士山が世界文化遺産に登録されましたので、さらなる有効な活用方法を検討していきます。

2 富士山基金年度別寄付状況

寄付者 分類	8～29年度		30年度		31（令和元）年度		令和2年度		合計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
一般	295	22,501,677	6	676,792	5	10,295,379	1	280,000	307	33,753,848
募金箱		988,543		29,177		30,002		21,967		1,077,724
ビデオ分		544,320								544,320
5財産区	30	25,000,000							30	25,000,000
ふるさと納税	2	100,000							2	100,000
一般財源		27,510,781		2,031		2,619		33		27,515,464
合計	327	76,645,321	6	708,000	5	10,328,000	5	302,000	339	87,983,321
利息		3,289,266		8,227		5,982		7,297		3,310,772
累計		73,934,587		716,227		10,333,982		309,297		91,294,093
取り崩し	15	60,200,000	1	350,000	2	6,300,000	1	300,000	20	67,150,000
基金残高		19,734,587		20,100,814		24,134,796		24,144,093		24,144,093

3 富士山基金活用状況

(1) ごてんばの富士山豆博士事業

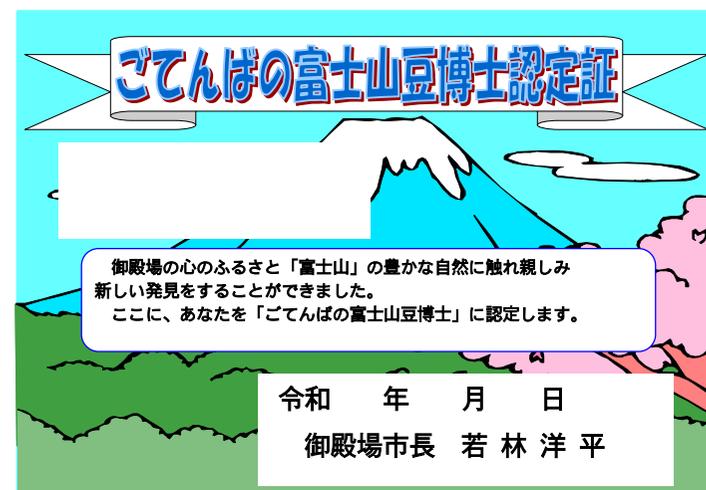
平成17年度に基金を活用した「ごてんばの富士山豆博士事業」を実施することが富士山基金委員会への諮問、答申を経て決定され、平成18年度から事業を実施しています。

御殿場市の子どもたちが「ごてんばの富士山豆博士事業」へ取り組み、身近な存在である富士山及び富士山麓の自然に触れ親しみ、富士山を取り巻く自然環境の大切さ・素晴らしさを再認識するとともに、新たな発見をして、一人ひとりが「富士山豆博士」になることを目的としています。平成18年度から市内の小・中学校全16校を対象にスタートし、平成30年度からは市内の小学校全10校を対象に1年に2校ずつ実施しています。各校15万円の交付金で地域性をいかした事業を実施し、年間30万円の基金の活用を図っています。

【実施校】

平成18年度：神山小学校、高根小学校、御殿場中学校、南中学校
平成19年度：富士岡小学校、印野小学校、原里中学校、西中学校
平成20年度：御殿場小学校、御殿場南小学校、朝日小学校、高根中学校
平成21年度：東小学校、原里小学校、玉穂小学校、富士岡中学校
平成22年度：神山小学校、高根小学校、御殿場中学校、南中学校
平成23年度：富士岡小学校、印野小学校、原里中学校、西中学校
平成24年度：御殿場小学校、御殿場南小学校、朝日小学校、高根中学校
平成25年度：東小学校、原里小学校、玉穂小学校、富士岡中学校
平成26年度：神山小学校、高根小学校、御殿場中学校、南中学校
平成27年度：富士岡小学校、印野小学校、原里中学校、西中学校
平成28年度：御殿場小学校、御殿場南小学校、朝日小学校、高根中学校
平成29年度：東小学校、原里小学校、玉穂小学校、富士岡中学校
平成30年度：富士岡小学校、神山小学校
平成31（令和元）年度：御殿場小学校、印野小学校
令和2年度：新型コロナウイルス感染防止対策のため実施なし

【認定証】



(2) 富士山宝永噴火300年記念DVD作成事業

平成18年度に、平成19年度事業の「富士山宝永噴火300年記念DVD作成事業」への基金補助が、富士山基金委員会への諮問、答申を経て決定され、活用されました。

(3) 富士山測候所関係資料調査・登録・整理事業

平成21年度に富士山測候所御殿場基地事務所に所蔵されていた気象観測関係資料を調査・登録・整理するにあたり、富士山基金委員会への諮問、答申を経て決定され一部基金が活用されました。

(4) 交流センター富士山ゾーン整備事業

平成21年度に「交流センター富士山ゾーン整備事業」への基金補助が、富士山基金委員会への諮問、答申を経て決定され活用されました。

(5) 富士山御殿場口新五合目公衆トイレの改築事業

平成30年度に富士山御殿場口新五合目公衆トイレの改築のための基金補助が、富士山基金委員会への諮問、答申を経て決定され、一部基金が活用されました。

(6) 富士山環境保全・教育推進事業

富士山の保全活動等に取り組む市民団体を対象とした「富士山環境保全・教育推進事業」を実施することが、富士山基金委員会への諮問、答申を経て決定され、令和2年度から事業を実施しています。